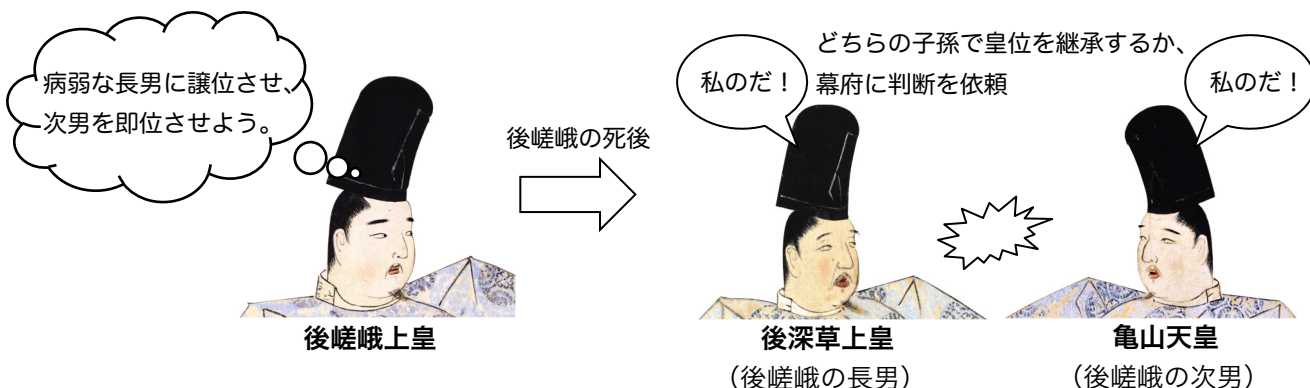


鎌倉幕府の倒壊

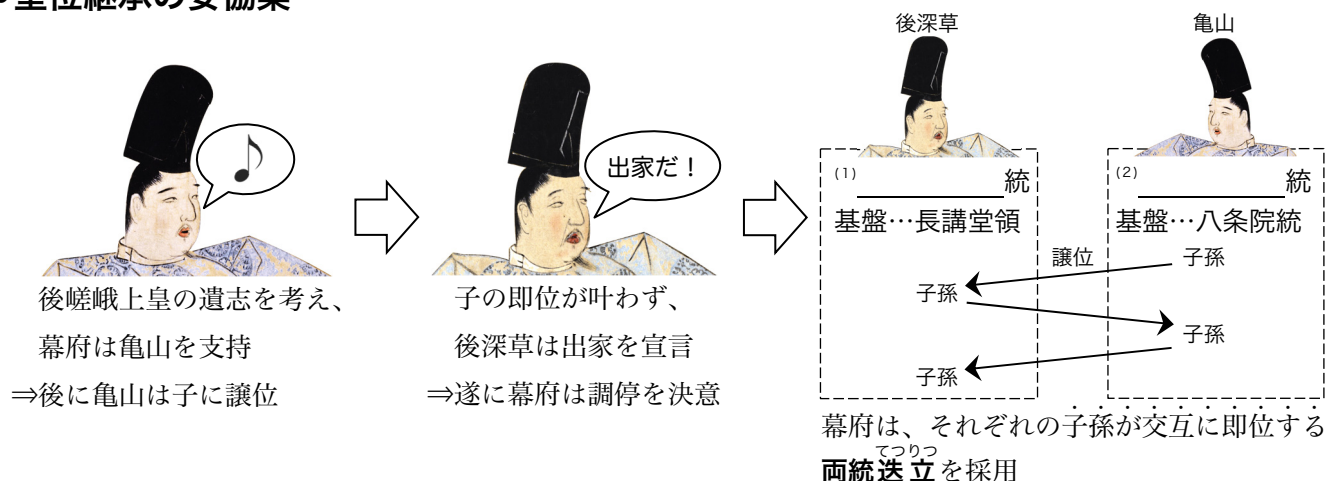
承久の乱後、朝廷と幕府の二元的支配のバランスが崩れ、幕府の優位が決定的となった。加えて、後嵯峨上皇以降、幕府は皇位継承にも発言力をもった。持明院統・大覚寺統が対立して皇位を争う中、大覚寺統から後醍醐天皇が即位した。後醍醐は幕府主導の現状を嘆き・怒り、遂に討幕を計画するに至った。

○ 後醍醐天皇の登場

● 後嵯峨上皇没後の対立



● 皇位継承の妥協案



● 後醍醐天皇の悩み

1318年、⁽³⁾ _____ 統から ⁽⁴⁾ _____ 天皇が即位した。

→ (4) は朱子学の大義名分論に影響を受け、幕府の存在自体に批判的だった。

⇒ 朝廷の権限回復のため、意欲的に諸改革に取り組んだ。

◇ (4) …諡号を自ら「後醍醐」としたように、⁽⁵⁾ _____ を理想視



しかし、(4) の最大の悩みは、皇位継承が天皇の意思に反することであった。

⇒ 鎌倉幕府の政情不安を見て、討幕計画を開始した。

● 幕府の政情不安

得宗北条高時のもと、内管領長崎高資が権勢を握っていた。

⇒ この状況に加え、窮乏などで御家人の不満は高まっていた。



北条高時(14代執権)

闘犬・田楽に興じ、享楽的生活を送った暗愚と、後の記録で多く伝えられる。後世の誇張はあるが、少なくとも執権という自覚をもたなかった人物と言える。

○鎌倉幕府の倒壊

●高まる討幕の気運

後醍醐天皇は、幕府に不満を抱く御家人・僧兵・悪党を集め、密かに討幕の計画を進めた。



1324 年、⁽⁶⁾ _____

…計画の露見により後醍醐の近臣が罪に問われた事件



1331 年、⁽⁷⁾ _____

…再度の計画露見で後醍醐が挙兵し、⁽⁸⁾ _____ に流された事件

…⁽⁹⁾ _____ 統から⁽¹⁰⁾ _____ 天皇が即位



(7) 以後、後醍醐側・幕府側の戦いが続いた。

⇒後醍醐側では、後醍醐の皇子⁽¹¹⁾ _____ と、

悪党とされた河内の⁽¹²⁾ _____ が奮闘した。

⇒後に後醍醐は(8)を脱出し挙兵に加わった。



後醍醐天皇（尊治親王）

絵画に描かれるヒゲと密教法具をもつ姿は、他の天皇にない異形さを示す。建武の新政では急進的な改革を目指したため、多くの者の離反を招いてしまう。

●武将の離反と幕府の倒壊

幕府側では、軍の指揮官であった⁽¹³⁾ _____ と、

(13) に同調した⁽¹⁴⁾ _____ が奮闘した。

⇒後に 2 人は離反して、幕府に決定的打撃を与えた。



(13) は京都の⁽¹⁵⁾ _____ を攻め落とし、

(14) は鎌倉を攻めて得宗⁽¹⁶⁾ _____ ら北条氏と、

内管領⁽¹⁷⁾ _____ を滅ぼした。

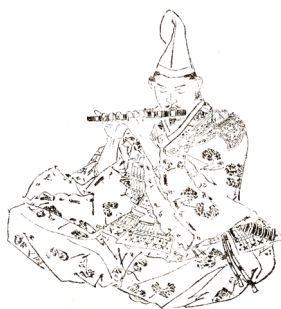
⇒1333 年、鎌倉幕府は倒壊した。

足利高氏（尊氏）

源義家の時に枝分かれした源氏の分流出身。鎌倉幕府は源氏が打ち立てた政治組織であり、足利氏は自らを北条氏に取って代わる存在だと、当然自覚しただろう。なお、高氏は後醍醐天皇の「尊治」の 1 字をもらい、「尊氏」と後に名乗った。

新田義貞

源義家の時に枝分かれした源氏の分流出身。足利氏と祖先を同じくしながら、鎌倉時代を通じて重んぜられなかった。北条氏への不満は強かったと思われる。



謀議のための茶会—^{ぶ れい こう}無礼講

後醍醐天皇は討幕計画の秘密を守るために、「無礼講」と称した飲茶の会合にことよせて、謀議をこらした。身分を超えた謀議をおこなうために、「衣冠を着せず、^{ほとん}殆ど裸形」での乱遊であった。一説によれば、「無礼講」の由来は、後醍醐によるこの謀議だと言われている。

